



差別ゼロデー

2016年3月1日

私は #ZERODISCRIMINATION に賛同します



立ち続けよう





「最も社会から排除されやすく、
弱い立場に置かれている人たちが
差別と迫害を受けているとすれば、
その差別と迫害は
私たちすべてに向けられているのです。
国連はすべての人の人権と尊厳を守る
強い意志を持ち続けています」

潘基文 国連事務総長



3月1日は差別ゼロデーです 立ち続けよう

2016年の差別ゼロデーでは、個人の人格および立ち続けることを重視しています。

いまここにある多様性を大切にして、個人個人の違いを理解し、受け入れる。広い心でお互いを尊重し、支えあう。

それぞれの人が社会を豊かにし、コミュニティを強くする多様な才能と技術を持っているのです。多様性を歓迎し、大切にしましょう。それが社会の結束力を高め、価値ある利益を生み出すことになります。

差別ゼロデーは、力を合わせて差別と闘い、誇りを持って自らの力を発揮できるようにするための機会です。すべての人にその権利があります。ジェンダーも、国籍も、年齢も、障害も、民族性も、性的指向も、地域も、言語も、その他いかなる立場も、差別の理由にはなりません。

個人とコミュニティと社会が心の声を上げれば、世界を変えていくことができます。差別ゼロデーは、すべての人が公平で公正な社会を実現する変化の一翼を担っていることを強調し、そのためにはどうしたらいいのかを示す機会なのです。

差別との闘い

- ▼ 差別はどこでも起こりえます：保健医療施設で、職場で、学校で、家庭で、そしてコミュニティ内部で。差別は個人や集団を傷つけるだけでなくすべての人を傷つけることになります。
- ▼ 人種に基づく差別は個人を苦しめ、社会的な結束を弱めることになります。
- ▼ 女兒および若い女性が教育を受ける機会を制限することは、個人の人生だけでなく、社会的な才能の蓄積を妨げることにもなります。
- ▼ HIV陽性者に対するスティグマがあると、多くの人が検査や生きていくために必要な治療、ケアを受けようとする気持ちを失ってしまいます。
- ▼ 差別と闘い、受容力を高める方法はたくさんあります：何かおかしいことが起きたら立ち上がり、はっきりと指摘すること、認識を高めること、差別を受けている人を支援すること、多様性の利益を強調することなどです。

保健医療現場の差別ゼロ

想像してください。

HIV感染を告げられた若い女性が医師から不妊を求められたら、
セックスワーカーが看護師から暴力や迫害を受けたら、
障害を持つ人がセクシャルヘルスに関して適切なアドバイスを受けることを拒絶されたら、
ゲイ男性が医療スタッフに自らのセクシャリティを明かすように強要されたら、
注射薬物使用者が治療を拒否され亡くなったら、
トランスジェンダーの人が診療所から追い払われ自殺しようとしたら。
暖かく安心のできる環境を大切にしなければならない保健医療の現場でも、
残念ながらそうしたことが、世界中で、あまりにも頻繁に起きています。

検査、治療、ケア、支援を提供する保健医療施設へのアクセスを妨げる障害物は
すべて取り除く必要があります。

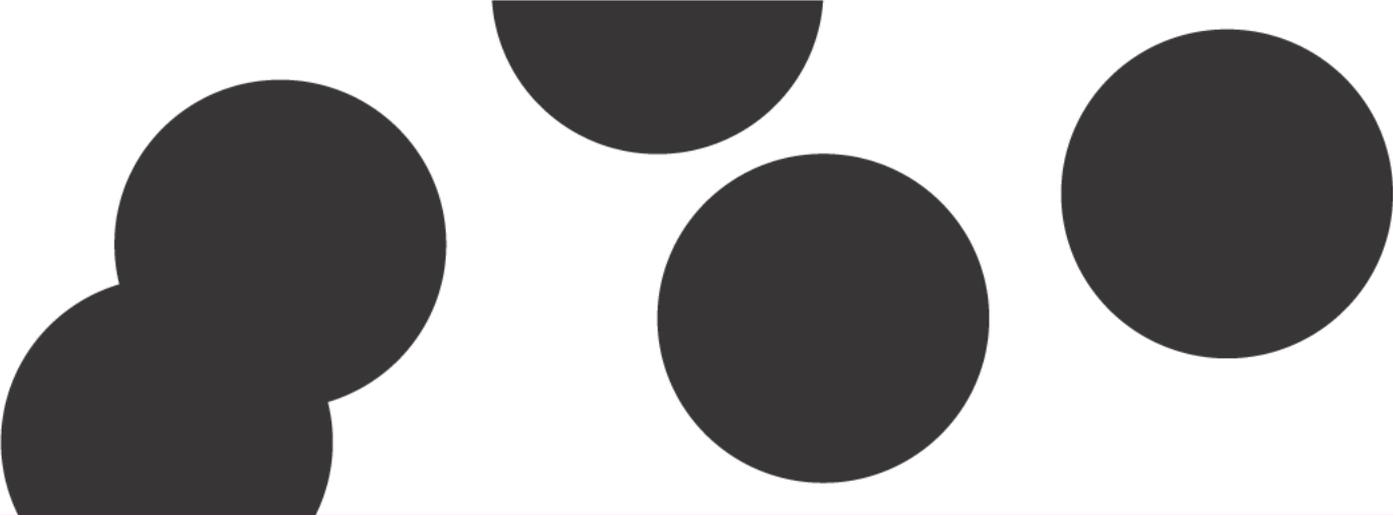
保健へのアクセスはすべての人に開かれていなければならないのです。

恐怖と偏見の壁を打ち破り、

生きるために必要なサービスを誰もが受けられるようにする。

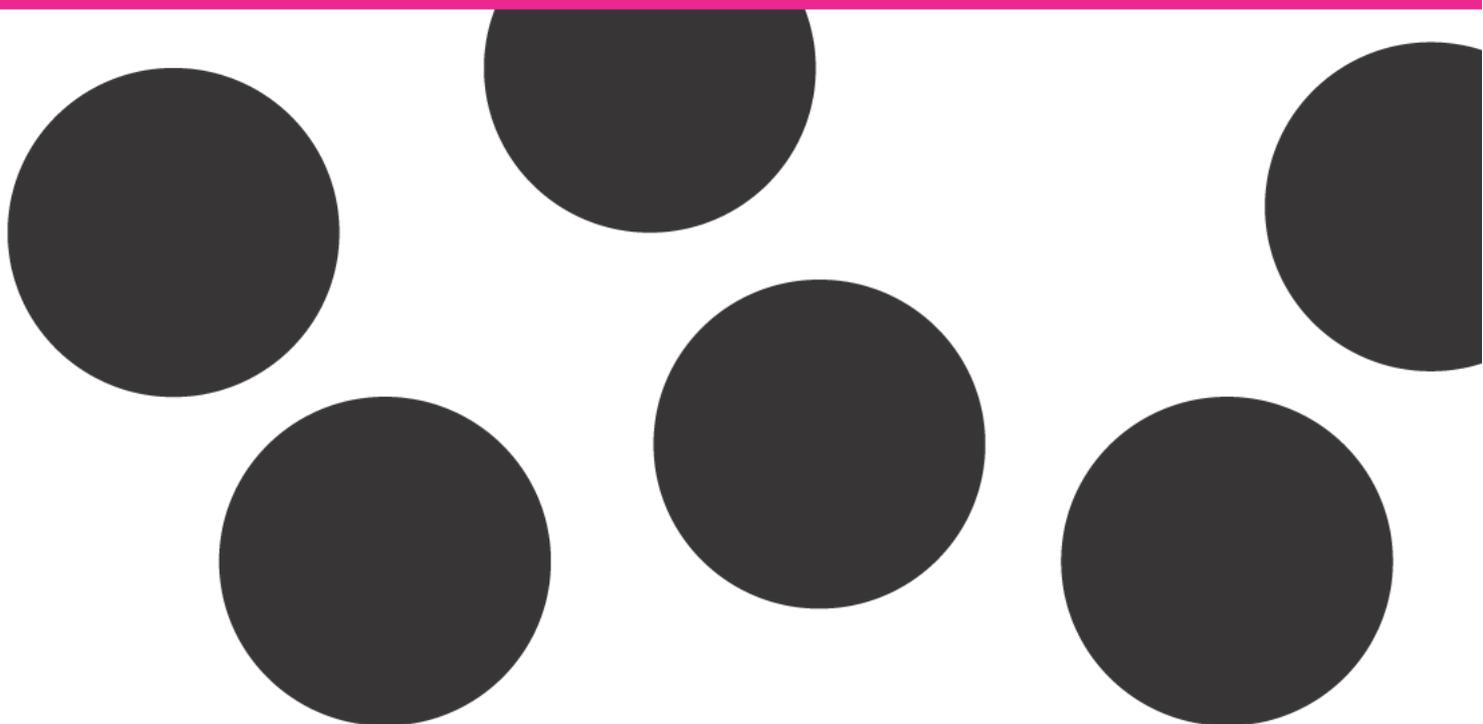
差別ゼロデーに際し、その決意を新たにしましょう。

2016年には、誰もが、どこにいても、保健への権利を守れるようにすべきです。



「スティグマと差別は
人を傷つけ、社会の崩壊をもたらします。
恐怖や暗黒の中で
人を苦しめるべきではありません。
2016年は差別ゼロに向けた変革に
立ち上がり、立ち続ける年です」

ミシェル・シディベ UNAIDS事務局長



#ZERODISCRIMINATIONキャンペーンへの 支援の意思を示してください。

キャンペーンは差別克服に関する皆さんのストーリーを伝えられるよう複数のプラットフォーム（ホワイトテーブル・ギャラリー、フェイスブック、インスタグラム）で展開しています。

絵や図、写真、ギフト、音声、ビデオなどでそれぞれの人が #zerodiscrimination への支援を示すことができます。

ホワイトテーブル・ギャラリー

Whitetablegallery.org の新たな展示により、関心を持つ人たちが差別ゼロとは何かについて表現できる創造空間です。

インスタグラム

何人かのアーティストやデザイナー、イラストレーターが差別ゼロを表現したオリジナル作品を提供しています。作品は @unaidsglobal で。

フェイスブック

今年のキャンペーンは、#zerodiscrimination フェイスブックのページで、誰もが支援し、参加できます。それぞれの人が自分にとって差別ゼロとは何かを考え、蝶々の絵や素描、画像、写真とともに #zerodiscrimination のハッシュタグで共有できるのです。

ツイッター

ツイートと画像が unaidsglobal.org でダウンロードして使えます。#zerodiscrimination キャンペーンへの支援にも利用できます。

事実と統計

- 保健への権利—適切な時期に経済的に負担可能な価格で質の高い医療を受けることを含め、実現可能な最も高い基準の健康を享受できるようにすることは基本的な人権である。¹
- 75カ国で同性間の性関係を犯罪とする法律がある。²
- スワジランドの調査のひとつによると、男性とセックスをする男性の約62%が差別を恐れて医療を受けることを避けていると答えている。³
- 中学校に通う生徒の男女比が同じ国は世界の4割にとどまっている。⁴
- 障害を持つ人は、持たない人に比べると、医療機関でひどい扱いを受けたと答えている人が4倍も多く、診療を拒否されたと答えている人も3倍近い。⁵

1 <http://www.ohchr.org/EN/ProfessionalInterest/Pages/CESCR.aspx>

2 http://old.ilga.org/Statehomophobia/ILGA_State_Sponsored_Homophobia_2015.pdf

3 Risher, K., Adams, D., Sithole, B., Ketende, S., Kennedy, C., Mnisi, Z., ... & Baral, S. D. (2013). Sexual stigma and discrimination as barriers to seeking appropriate healthcare among men who have sex with men in Swaziland. *Journal of the International AIDS Society*, 16(3Suppl 2).

4 UNESCO. Teaching and learning: achieving quality for all. EFA Global Monitoring Report 2013/14, Jan. 2014

5 World Health Organization: 10 facts on disability, September 2013.

